

平成21年度 茶園関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成21年10月30日(金)に植調会館において開催された。

この検討会には、試験場関係者6名、委託関係者3名ほか、計19名の参集を得て、除草剤1薬剤(2点)について、

試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成21年度 茶園関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 グリホシネートPナトリウム 塩:11.5% [明治製菓]	茶	作用性 新規	野菜茶業研 (1)	[薬害] ・ ①挿し木活着期 ・ ②挿し木発根盛期 ・ ③挿し木萌芽盛期 ・ 300, 500mL<100L> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 参1) AH-01液+DCMU水和 300mL+300g<100L> 参2) DCMU水和 500g<100L> 参3) ラウントアップ マックスロード 液 500mL<100L>	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	茶	適用性 新規	宮崎茶業支場 (1)	[一年生雑草] ・ 挿し木活着、萌芽後 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300, 500mL<100L> ・ 茎葉処理 (畦間・株間処理) ・ 展着剤不要		